

令和2年度おもてなしのやまなし知事表彰

被表彰者 15(個人1、団体12、事業者2)

■県民表彰(個人の部)

番号	市町村名	個人名	活動の状況
1	甲府市	河野 暢子	石和温泉の旅館の女将として、訪れるお客様に満足していただけるおもてなしを実践してきただけでなく、2005年5月より、石和温泉旅館協同組合の女性部長として、各旅館のネットワーク強化や女性の視点による石和温泉の魅力発信などに取り組み、地域の観光振興にも貢献してきた。さらに、平成23年には、発起人となり、全県規模の「やまなし女将の会」を設立し、会長を退く約8年にわたり、県と協働したおもてなし推進活動や観光PR事業へ積極的に関わってきた。自らのおもてなしの実践に加え、地域のおもてなしリーダーとして、やまなしならではのおもてなしの推進や観光振興に尽力された功績は大きく、他の模範となっている。

■県民表彰(団体の部)

番号	市町村名	団体名(代表者等)	活動の状況
1	甲府市	昇仙峡観光ガイド	平成22年度より、県内外から昇仙峡に訪れる多くの観光客に対し、「昇仙峡マイスター」として「御嶽昇仙峡」の歴史や文化財の紹介、季節ごとの見所といった観光資源を親切・丁寧案内するなどのおもてなしを実践している。さらには、昇仙峡の観光推進にも積極的に関わっており、今年度、日本遺産の認定を受けた「御嶽昇仙峡」の活性化を進める上でもその活動は他の模範となっている。
2	富士吉田市	山梨県立富士北稜高等学校 (校長 羽田 孝行)	2017年より富士吉田市と包括連携協定を締結し、NPOかえる舎の協力を得ながら、地域の魅力発信とおもてなしの活動を展開している。2018年には「ふるさと納税返礼品ツアー」として富士吉田市の日帰りバスツアーを企画・実施し、2019年には、ラグビーワールドカップで交流のあったフランスの高校生を招き日本文化の体験交流等を行った。さらには、山梨県の旅行プランや郷土食の魅力発信等の企画・提案も積極的に行っている。生徒の企画は高く評価されており、山梨の魅力づくり、ファンづくりに大きく貢献している。また、地域と協働した活性化の取り組みは、未来を拓く人材の育成の場としても評価できる。
3	都留市	都留アルプス会 (会長 内野 一洋)	平成28年度より、「都留アルプス」と名付けた市内に連なる山々を結ぶ遊歩道の整備に取り組んでいる。遊歩道の整備は、調査・計画作りから、倒木処理、階段や道標の設置などの幅広い作業に及び、市民や観光客が気軽に楽しめるトレッキングコースとして平成29年度に完成した。その後も定期的にコース整備を行ったり、ハイキングイベントを開催するなど、山を楽しむおもてなしの活動は好評を得ている。これらの活動は他の模範となり、市の観光振興に寄与している。
4	山梨市	桃の花まつり実行委員会 (代表 小野 鈴枝)	平成20年より、行政に頼らない市民手作りのお祭りを地域に興し、山梨市を訪れる方々に「桃の花」を楽しんでもらえるよう、毎年4月に市内で「桃の花まつり」を開催している。祭りでは、朝市の開催、かのがわ古道の散策、もも畑と菜の花による春の風景の演出、夜間の缶灯籠など、地域全体を巻き込み、訪れる観光客をもてなしている。これらは、地域の観光資源をより多くの方に楽しんでもらうための活動として、他の模範となっている。
5	南アルプス市	沢登切子保存会 (会長 名取 守)	沢登地区に300年以上前から伝承し、山梨県無形民俗文化財に指定されている「六角堂の切子」を後世に継承しようと昭和50年から活動を行っている。県民向けの講習会や市内小学校のクラブ活動での指導、地域のイベントでの実演・体験コーナーや展示会の開催など、後継者の育成や「切子」の普及を積極的に行うことで、伝統文化の保存継承による地域の魅力と価値の向上に貢献している。
6	北杜市	北杜市立 長坂中学校 (校長 小林 新吾)	長坂中学校の太鼓隊は、平成3年に設立され、山梨県出身の作曲家「天野宣(あまのせん)」氏作曲の「校風」と名付けられた曲を、約30年にわたり演奏している。「北杜ふるさと祭り」では、県内外からの来訪者に演奏を披露し、地域やふるさとを訪れた方々とのふれあいを深め、地域おこしにつながっている。また、姉妹都市でもある新宿区のイベントでも演奏を披露し、北杜市のPRや伝統芸能の素晴らしさを伝えている。長年にわたる伝統芸能の保存、継承と地域の特色を活かしたおもてなしの取り組みは他の模範となっている。

令和2年度おもてなしのやまなし知事表彰

番号	市町村名	団体名(代表者等)	活動の状況
7	甲斐市	おみゆきさん実行委員会 (委員長 碓井 和幸)	昭和62年より、毎年4月15日に信玄堤公園などで釜無川の水難を防ぐ水防祈願として「おみゆきさん」を開催している。「おみゆきさん」は平安時代にその起源があるとされており、神輿の渡御、神社での神事に加え、信玄太鼓やみゆきソコダイ踊りの披露や神輿担ぎ手化粧コンテストなどが行われ、地域の重要な伝統文化を感じるものとなっている。この祭りの実施に向けた実行委員会の活動は、地域の伝統と文化の継承に大きく貢献している。
8	甲州市	甲州市立 勝沼中学校 (校長 柴田 幸也)	昭和57年から、甲州市の伝統行事である「鳥居焼き」に火を灯す役割を全校生徒で担っている。役割は、大善寺での聖火の採火、その後、生徒が聖火を持って勝沼町内を走り、地元住民の先祖供養の思いを集め、それから鳥居に灯すというものである。さらに、鳥居焼きの開催に向けて、授業の中で歴史や由来を学んだり、火を灯す「護摩木」を鳥居の形に積むボランティア作業にも学校を挙げて取り組んでいる。これらの活動は、次世代を担う子供達の郷土に対する理解や愛着を育み、地元の伝統文化の保存・継承の一助となっている。
9	市川三郷町	市川マップの会 (会長 一瀬 茂)	平成4年から、「歴史文化の力を信じて」を活動理念に、市川三郷町の歴史文化を次世代に伝承する活動を続けている。町内の名所・旧跡の取材を重ね、平成17年に「市川大門散歩マップ」を制作、その後町が合併したことから、昨年、旧3町全体の散策マップ「市川三郷まちめぐりマップ」を新たに発行した。また、町に現存する歴史的建物の整備活用や史跡、伝統産業を学ぶイベントなどを開催するなど、長年にわたって、町の歴史文化の伝承と、文化財の保存に尽力し、大きな功績を残している。
10	富士川町	鰻沢ばやし保存会 (代表 青柳 博文)	江戸時代より地域に親しまれ、町の無形文化財に指定されている「鰻沢ばやし」を後世に残していくため、昭和47年に発足した。定期練習会により技術の向上に努めるだけでなく、先人達より受ける伝統の灯を絶やさぬため、鰻沢中学校生徒への指導、伝承にも積極的に取り組んでいる。さらには、多年にわたり、町内外のイベントで演奏する活動も行っており、伝統文化の保存継承に大きく貢献している。
11	富士川町	大柳川渓谷ガイドクラブ (代表 望月 親人)	平成27年から、富士川町を代表する観光地「大柳川渓谷」のガイドを行っている。特に、新緑の季節や紅葉の季節には、大勢の渓谷散策者が県内外から訪れる人気のスポットであることから、ガイドとしてその魅力を伝えるのみならず、遊歩道や案内看板の整備なども行い、旅行者をもてなしている。さらには、県外から町に来るこども達に対して、大柳川エリアの自然の魅力を伝える活動も行っており、これらは、地域のファンづくり、地域の振興につながる活動として他の模範となっている。
12	富士河口湖町	富士河口湖町立 船津小学校 (校長 小林 統也)	平成30年度から、日本人の観光客のみならず外国人観光客も多く訪れる国際的な観光地という環境を生かし、外国語科の学習の一環として、河口湖駅を利用する観光客に、英語で地域の観光名所を紹介したり、河口湖までの道案内をするなどのおもてなしの活動を行っている。これらの活動は、コミュニケーション能力や様々な文化の理解に対する意欲の向上、さらにはふるさとを誇りに思う心の育成に貢献している。

■事業者表彰

番号	団体名(代表者等)	活動の状況
1	春日居温泉 ホテル春日居 (代表取締役 大石 竜二)	開業当初より、おもてなしの一環として本県の特産品であるワインに着目し、ワイン業界団体との定期的な勉強会の開催、従業員に対するワイン教育を継続的に実施してきた。これにより、お客様に県産ワインと食事のマリアージュを提案したり、お客様が気軽に県産ワインを味わえるようテイस्टिंगのアイテムを充実させるなど、県産ワインの魅力向上につながる取り組みを実践している。これらは、「ワイン県やまなし」を広くPRする活動であるとともに、ワインツーリズムの振興に寄与している。
2	富士山温泉 ホテル鐘山苑 (代表取締役 宮下 節夫)	平成初頭より、宿泊業におけるおもてなしの改善に着目し、お客様にご満足いただけるおもてなしを常に実践し、旅行会社等が行うお客様アンケートなどでは毎年高い評価を得ている。また、地域の宿泊施設の質的向上こそが、観光地としての魅力を高め、世界中のお客様から選ばれることにつながるの考えを持ち、県内宿泊施設の経営者を対象に研修会を主催するなど、県全体におもてなしを普及させる取り組みは、県内宿泊施設の質の向上にもつながっている。宿泊施設のリーダーとしての長年の取り組みは、県のおもてなしの推進や観光振興に大きく貢献している。

※記載順は個人表彰、団体表彰は市町村の建制順。事業者表彰は五十音順。